

第 19 号 令和 4 年 8 月発行

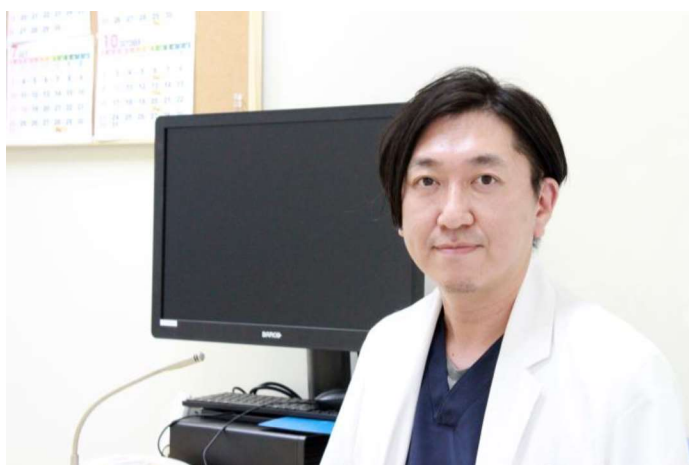
# 水明会通信 スワン



## 就任のご挨拶

佐潟公園病院 精神保健指定医 横山裕一

これまでは週に 1 日の「中高年の物忘れ・心身外来」を担当しておりましたが、令和 4 年 4 月から常勤医となりました。以前勤務していた新潟大学医歯学総合病院では、精神疾患全般の診療に加えて、「物忘れ外来」を担当し、日本認知症学会専門医・指導医として、主に神経変性疾患による神経認知障害（認知症や軽度認知障害）の診療・教育・研究に従事して参りました。



高齢化が進み、神経認知障害の早期発見と進行予防は大変重要な課題であり、誰にとっても身近な問題です。現代医学では未だ根治的治療のない疾患群ですが、薬剤や身体疾患が認知障害の一因となっていることがあります。例えば、長年飲み続けてきた抗不安薬や睡眠薬を段階的に減量・中止することで、認知機能あるいは認知症に伴う行動・心理症状が改善した患者さんを何度も経験しました。このように神経認知障害の診療では、薬剤を追加投与する足し算だけではなく、

治療可能な原因を取り除く引き算も大切になってきます。また、認知障害の影にうつ病が隠れている「仮性認知症」と呼ばれる可逆的な病態などを見逃さずに、早めに発見できるように、いつでも丁寧な診療を心が

けていきたいと思ひます。農村部などでは「歳だから仕方ない」で済まされがちな物忘れですが、高齢になってもできるだけ質の高い生活を維持できるお手伝いをできればと思ひますので、早めにご相談いただければ幸いです。また、この度、厚生労働省の定める認知症サポート医養成研修を修了致しましたので、今後は新潟市の認知症初期集中支援チームの一員としても、地域に密着した診療に従事したいと思ひます。

大学病院では、外来患者さんから音楽や映画の話をお聞かせしてもらったり、釣りの指南を受けたりするのが楽しみの一つでした。これからも、そのような時間も大切にしていきたいと思ひます。どうぞ、よろしくお願ひ致します。

## ラグーン atorie 部の活動報告

就労支援継続 B 型ラグーン主任 飯塚有紀

6 月 29 日から 7 月 28 日まで「ラグーン展覧会 2022」が今年も実施されました。今年、ラグーン atorie 部の絵画だけでなく、「ラグーンってこんなところ」をテーマに、活動の内容や“みんなの思ひおすすりめ”等の紹介をしました。具体的には観てくださる方に、喫茶や創作など色々な活動を知ってもらうこと、その活動において個々が伝えたい思ひを表現し、ラグーンに興味を持って頂けるきっかけになることを願ひ、製作にあたりました。これまでの展覧会よりも多くのメンバーが、このイベントに携わられたことを嬉しく感じています。



いわむろやでの展覧会の様子

さて、病院待合室のラグーン atorie 部の絵画展示は、7 月より新しい作品に変わっています。作家たろきち「さかなが泳ぐ森の水族館」、「波乗りジミー」と作家しゅんすけ「さがた水泳大会」の 3 作品です。来院の際は、ぜひご覧になってください。そして、その時にはこのタイトルをぜひ忘れてください！！それは、タイトルにとらわれずに自由に観ていただきたいからです。すでにお気づきの方もおられるかもしれませんが、atorie 部の展示作品には、以前からキャプションを付けていません。それは、タイトルを知ると、その



待合室の絵画展示もご覧ください

タイトルから連想するメッセージでしか絵画を観られなくなるからです。皆さん一人ひとりが自由に、五感を使って、自分にしか感じられない、その瞬間の芸術を感じてください。同じ絵でも、観る人、観る時の心情によって違うものに見えたり、音や匂いさえも感じられるかもしれません。芸術の見方に間違いはないです。そしてよかったら、感想を教えてください。観てくださる方がいることは、作家にとって大切なモチベーシ

ヨンになります。

またこの度、「第 8 回 Art to You!東北障がい者芸術全国公募展」にしゅんすけと、たろきちの作品が入選し、9 月 8 日から 11 日まで宮城県美術館に展示されることが決定しました。全国から公募された数多くの中から選ばれたこと、とても嬉しく、誇らしく感じています。県外ですが、ご興味のある方はお出かけしてみてください。きっと、自身の世界観や感性に影響を与え、心が躍ると思います。

## 訪問看護サービス提供可能地域の拡大について

訪問看護ステーションつばさ 所長 上村法貴

訪問看護ステーションつばさでは、こころの病気や障がいを抱え不安や生きづらさを感じている方が、家庭や地域社会で安心して生活できるようにお手伝いさせていただいています。おかげさまで平成 28 年 7 月の開設から順調に利用者様も増え、経験と実績を兼ね備えたステーションになってきています。

現在訪問看護サービス提供可能地域は、新潟市全域、燕市（旧吉田町）、弥彦村となっていますが、「遠方だけど訪問看護を利用したい。」という利用者様の声もあり、燕市全域と三条市もサービス提供可能地域として拡大をしていくことに致しました。訪問看護の利用についてのご相談は訪問看護ステーションつばさまでお電話ください。具体的な手続きについてご説明します。



訪問看護を利用される皆様が住み慣れた地域やご自宅

で、その人らしく安心して生活できるように支援していきます。病状の安定、回復のためには生活習慣を整え様々なストレスから上手に身を守り、人との関わりや日々の生活を楽しく、気持ちよく過ごすことが大切です。新しく訪問看護を利用したいという方は、この機会にぜひご相談ください。

**訪問看護ステーションつばさ TEL025-239-2680 お気軽にご相談ください。**



## 新型コロナワクチン 4 回目接種のご案内

当院で 3 回目接種を完了した日から 5 か月以上を経過している、60 歳以上の方若しくは、18 歳以上 60 歳未満で基礎疾患を有する方に 4 回目接種を行っております。ご希望の方は接種券が届きましたら以下の予約専用ダイヤルにご連絡ください。

**予約受付専用ダイヤル TEL070-4083-3321**

【受付時間】 土日・祝日を除く 平日 13:00~17:00

